

当社は、栃木県・群馬県を中心に社有林を保有し、計画的な植林・下草刈・間伐を行い、森林整備・保全に取り組んでいます。本プロジェクトは、栃木県宇都宮市にある山林を対象とし、スギ・ヒノキ約59haの間伐を進め、CO₂吸収量の増大を図るプロジェクトです。

プロジェクトの実施場所	栃木県宇都宮市
吸収量(予測)	年間 338t-CO ₂ (予定)
在庫量(2012年4月時点)	t-CO ₂
クレジットの次回発行予定	2013年4月(予定)
1t-CO ₂ あたりの希望単価	なし

本プロジェクトは、宇都宮市森林組合の協力を得て、当社が栃木県宇都宮市に保有する篠井山林において、総面積約72haのうち間伐時期にきているスギ・ヒノキといった針葉樹林約59haの間伐を実施し、間伐によって森林が吸収するCO₂吸収量の増大を図ります。

また、プロジェクト対象地には哺乳類をはじめ鳥類、両生類と多くの生物が生息し、周辺が田畑に囲まれていることから、周辺の田畑と一体となった生物多様性の保全が図られます。



写真1 篠井山林



写真2 間伐実施風景

■担当者連絡先
東武鉄道株式会社 資産管理部 大月
TEL:03-5962-2208
Email:t-otsuki@tobu.co.jp